

●指導計画

第5学年【生活場面から問題を設定】

第2学年【教材の中から問題を設定】

主題名	たいせつなきまり 【内容項目C 規則の尊重】
ねらい	「わたし」の考え方や行動から問題を見付け、どうしたらきまりを守ることができるのか話し合い、解決するために必要なことを考えることを通して、社会生活を送る上で必要なきまりの意義を理解し、社会や集団の一員としてきまりを進んで守り従おうとする道徳的判断力を養う。
教材名	「通学路」 【生きる力 日本文教出版】

主題名	みんなのものをみんなで使うために 【内容項目C 規則の尊重】
ねらい	一輪車を隠したことで困っている主人公の姿から、みんなが一輪車を使うためにはどうするかという問題を見出し、問題解決のために大切にしないではいけないことを考えることを通して、きまりの意味を理解し、みんなの物を進んで大切に、工夫して使おうとする道徳的判断力を養う。
教材名	「一りん車」 【生きる力 日本文教出版】

	学習活動	主な発問 (◎中心発問)
導入	1 問題をつかむ。	○ きまりについて考える。 ○ アンケート結果について考える。
	2 問題を解決する。 (1) 問題を明らかにする。 (2) 問題を解決するために話し合う。(個人→グループ) (3) 問題解決のために大切なことを考える。(個人→グループ) (4) 問題を解決する	○ 「通学路」を読んで考えましょう。 ○ 「わたし」の行動の、どこが問題だと思いますか。 ○ 「わたし」はなぜ、きまりを守らなくてもいいと判断したのでしょうか。 ○ 「わたし」はかけ出す前に何を考えなければいけなかったのでしょうか。 ◎ きまりを守るためには、どのように考えていけばいいのでしょうか。 ○ きまりはなぜ必要なのでしょう。
展開	3 自分の生活について振り返る。 (1) 未来へ広げる考えを見つける。	○ 自分たちの身のまわりや社会にはどんなきまりや約束があるでしょう。
	4 問題解決をしたことを発展させる意欲を持たせる。	○ きまりを守れた時は何を大切にしたのでしょうか。守れなかった時の原因は何だったのでしょうか。自分たちの生活を振り返りましょう。

	学習活動	主な発問 (◎中心発問)
導入	1 身近な遊びを振り返る。	○ 身近な遊び道具にはどんなものがあるでしょう。
	2 「一輪車」を読んで考える。 3 問題を解決する。 (1) 問題を発見する。 (2) 問題を整理し、明らかにする。	○ 「一輪車」を読んで考えましょう。 ○ ひでくんとまさきくんは、どうして困っているのでしょうか。 ○ 困っていることの問題点を考えましょう。
展開	(3) 問題を解決するための具体的な方法を話し合う。 (4) 問題解決のために大切なことを考える。(個人→グループ) (5) 問題を解決する。	○ どのような方法が考えられるでしょう。 ◎ どの方法でも大切に考えなければいけないのはどんなことでしょうか。 ○ きまりはどのように守らなくてはいけないのでしょうか。 ○ みんなのためにあるきまりにはどんなものがあるでしょう。
	4 自分の生活を振り返る。 (1) 未来へ広げる考えを見つける。	○ 今日学習の価値や学び方について、振り返りを書きましょう。 ○ 身近な遊びや遊び道具の使い方から、こんなきまりがあれば、みんなが過ごしやすいということがありますか。
終末	5 問題解決したことを発展させる意欲を持たせる。	

問題の発見

学習課題の設定

問題を支えている条件の分析

学習課題の設定

問題解決についての思考

問題の解決

発展

問題の発見

みんなが一輪車を使えるようにするためにどうすればいいだろう。